

H28 堅果類（ドングリ）の豊凶調査の概要について

1 堅果類（ドングリ）の豊凶調査（着果状況）について

秋のクマの主食と考えられるブナ、ミズナラ、コナラの実の豊凶調査の結果、クマが大量出没した年と比較すると県東部では同等以下の状況、県西部では良い状況です。
（大量出没年はH18年とH22年でした。神通川を境に県の東側を県東部、西側を県西部としています。）

2 ツキノワグマの出没の可能性について

県東部：標高が高い所に生育するブナとミズナラが凶作であることから、クマが食べ物を求めて標高の低い所で活動することが予想されます。

山裾の集落周辺の他、平野部においても、クマの出没に十分な警戒が必要です。

県西部：県東部よりもブナとミズナラの状況は良いですが、凶作の地点もあることから、山裾の集落周辺ではクマの出没に警戒が必要です。

3 森林研究所の樹種別着果状況調査結果（調査時期：ブナ8月、ナラ8月中下旬）

樹種	ブナ
作柄	県東部 凶作：全箇所凶作 県西部 不作：凶作から並作までばらつく
調査箇所	15箇所、324個体調査 ・境川、嘉例沢、馬場島、立山桑谷、立山ブナ平、有峰(下部、祐延、峠谷)、大長谷、山の神、細尾峠、菅沼、ブナオ峠、大門山、医王山
樹種	ミズナラ
作柄	県東部 凶作：全箇所凶作 県西部 不作：凶作から並作までばらつく
調査箇所	16箇所、366個体調査 ・境川、嘉例沢、平沢、馬場島、芦峯寺、有峰(猪根、西岸、峠谷、東谷)、桧峠、牛岳、大長谷、山の神、細尾峠、西赤尾、医王山
樹種	コナラ
作柄	不作 ・不作と並作の箇所がある
調査箇所	10箇所、224個体調査 ・三峯、魚津、東福寺野、吉峰、猿倉、頼成、医王山、倶利伽羅、五位

作柄は豊作、並作、不作、凶作の4段階区分（健全堅果密度と着果指数に基づく）